

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を

### 1) 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券・・・該当するものはない。

(2) 満期保有目的の債券以外の有価証券

①時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法によ

### 2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	726,074,706	0	615,526,746	110,547,960
定期預金	0	200,000,000	0	200,000,000
投資有価証券	3,049,674,750	2,149,265,278	912,185,292	4,286,754,736
基本財産計	3,775,749,456	2,349,265,278	1,527,712,038	4,597,302,696
特定資産				
学術研究奨励基金	195,361,667	64,225,000	0	259,586,667
特定資産計	195,361,667	64,225,000	0	259,586,667
合計	3,971,111,123	2,413,490,278	1,527,712,038	4,856,889,363

(注1) 基本財産のうち普通預金の当期減少額は、株式・公社債等の投資有価証券取得に充当した額である。

(注2) 基本財産のうち投資有価証券の当期増加額は、味の素株式売却代金をもって取得した株式・公社債等の取得額 1,469,324,331円及び投資有価証券評価益679,940,947円である。

(注3) 基本財産のうち投資有価証券の当期減少額は、基本財産であった味の素株式の売却簿価 909,828,000円及び投資有価証券評価損 2,357,292円である。

(注4) 特定資産のうち学術研究奨励基金の当期増加額は、特定資産評価益である。

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応)
基本財産				
普通預金	110,547,960	(110,547,960)	(0)	(0)
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(0)
投資有価証券	4,286,754,736	(4,286,754,736)	(0)	(0)
小計	4,597,302,696	(4,597,302,696)	(0)	(0)
特定資産				
学術研究奨励基金	259,586,667	(259,586,667)	(0)	(0)
小計	259,586,667	(259,586,667)	(0)	(0)
合計	4,856,889,363	(4,856,889,363)	(0)	(0)

## 4 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	金額
経常収益への振替額	
研究助成交付金	10,000,000
合計	10,000,000